

2018年2月14日 早春の花を求めて

どこかで春が生まれてる ～ ♪

見頃はまだまだの早春の花の名所を訪ねました。

立春を過ぎてもまだまだ厳しい寒さが続いておりますが、心なしか陽射しの明るさが増したように感じられます。春はゆっくりですが着実に近づいているようです。

この三連休には、人気のイラストレーター キン・シオタニ氏と落語家立川晴の輔氏によるトークショー「キンぱれその11」と、6回目を迎えた「おおやまみちまちづくりサミット」が続けて開催され、市内外から大勢のお客様がお越しになり大いに盛り上がりしました。

さて今回は、読売新聞に紹介され皆様から多くのお問い合わせをいただいております市内の花の名所『日向梅林』と大山の『おかめ桜』を訪ねて参りましたので報告します。



日向薬師駐車場の上部にある『日向梅林』です。ここは昭和50年代に伊勢原青年会議所の皆さんが、新しい花の名所を作ろうと100本の梅の木を植林されました。



梅林の内部の様子で、花はまだ固いつぼみのままです。現在は一番下段のみが整備されベンチなどがあります。



1本だけ花がチラホラ開花し始めていました。この木を撮った読売新聞の記者さんは写真が上手ですね。



こちらは大山バイパス沿いの『おかめ桜』です。この花も地元の方々が新しい名所を作ろうと植えていただき、近年では登山マラソンの頃に赤く咲き誇り、大山桜と並ぶ早春の風物詩となっておりますが、まだまだつぼみです。



道灌まつりで曳行された御柱が目印です。雪をまとった大山が近くに見えます。



近づいて見ると赤いつぼみが暖かな春の日差しを待ちわびているようでした。

なお、今年初めて大山登山マラソン(3月11日)に合わせてライトアップを計画しているそうです。詳細は観光協会 HP でお知らせします。乞うご期待！！

※両方とも、この寒さが続くと開花にはまだ時間かかりそうですが、開花情報はこのHPをご覧ください。